

地域おこし協力隊



9

月から日陰地区山林の境界



確定を行っています。山主の皆さんにご協力を頂き、一緒に山を歩きながら、境界に沿ってぐるりと一周する作業です。道が無い場所を進み、急な斜面を登ったり降りたり、笹藪をかき分けたり、沢沿いに進んだり、歩くのは簡単ではありません。しかし、山主の皆さんは軽快に歩き、文句を言われることもなく、作業にご参加頂いており、大変嬉しく、また、感謝の念で胸が一杯になります。山を歩いていると、「小さい頃、ここを歩いて桑の葉を運んだものだ」「親父と一緒にここへ来て遊んだ」など、山主さんから聞く昔の話が作業中の楽しみです。山と人の関わりが、情景を通じて鮮やかに見えるような瞬間が、自分は本当に好きです。今後もよろしく願います。

(大野航輔)

無料足揉み体験
キャンペーン
実施中です！



道

志村各地のお茶会に呼んでいただき「足揉み」体験を始めました。先日は、馬場地区、神地区のお茶会で足揉みをして、みなさんに喜んでいただきました。他のお茶会へも足揉み体験会を出来たらと考えています。お茶会では「気持ちよかった」「肩こりが良くなった」「腰が楽になった」「ポカポカしてきた」などの感想を続々といただいております。また、皆さんに口コミしていただき道志村でも20名以上の方々の足を揉ませていただいております。足揉みすると、自己免疫力が上がり健康増進に繋がります。足揉み体験をぜひ一度お試しください。『足揉み無料体験の問い合わせ先』協力隊井口 08030902460まで。

(井口陽介)

10

月20日田んぼの稲刈りを行いました



みなもと体験館前の小さな休耕田を借り、米作り一年目、地主の方をはじめいろいろな方の助けを頂きながら、お蔭様で無肥料、無農薬でお米を作ることができました。これから自然乾燥の後、脱穀と粳摺りがありますが、まずは収穫ができほつとしています。小規模ですが、畑も田んぼも自分でやってみると分からないことや失敗があり、作業も思いの他大変なことがありました。しかし成果があれば新たなやりがいもありますので、来年も続けます。(千々輪岳史)

養

蚕について調べています。道志村ではかつてどの家庭でも行われていました。現在はおこなわれていませんが、山梨県内にはまだ数軒、養蚕農家が残っています。そこでは、機械化がすすみ、昔は手作業で苦労した工程も効率的な方法が採用されています。



道志村での養蚕の記憶とともに、県内に今も残る養蚕について取材し、来月発行の『道志手帖』でお伝えします。(香西恵)

(香西恵)

道

志村でよく聞く思い出話の一つに、村民体育祭で食べた「川原畑のうどん」の味が忘れられないというものがありました。



ぜひとも食べたいと思っていただけ、川原畑のお茶のみ会でつくって頂けることとなりました！鶏ガラと昆布でダシをとり、製麺機で生地をのしうどんにし、甘辛く煮た鶏肉とニンジン、ネギをトッピングして完成です。味はもちろんおいしい！甘辛く煮た鶏肉とうどんと一緒にほおばったときはたまらないおいしさでした。

ご協力いただいた川原畑お茶のみ会のみなさん、どうもありがとうございました！川原畑のうどんについては協力隊で発行している『道志手帖』6号でたっぷりご紹介いたします！

(中島拓哉)



お茶のみ会を終えて記念撮影。ありがとうございました！